



天然紙系繊維「OJO+(オージョ)」を製造販売

マニラ麻を原料に紙系を製造する。王子製紙グループの生産技術を用いる。アパレル、寝具、インテリアなど幅広い用途で採用されている。

業況等の動向について

参入事業の概要

マニラ麻を100%使用した、天然紙系繊維「OJO+(オージョ)」を開発。マニラ麻をパルプ化し、超薄紙を製造する。それを1mm以下の細長いテープ状に切断する。そのテープを撚って、糸にする。

紙系「OJO+(オージョ)」単体で、織布することもあるが、他の繊維(ポリエステル、ウール等)との交織にもむいている。生地メーカー、アパレルメーカー、高級メゾンに販売する。

春夏物から秋冬物まで、オールシーズン使ってもらえる。

業況は、やや好調。天然繊維、環境に優しい、軽くて通気性に富む、かつ強靱という特性から引き合いを多く受けている。

異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

王子製紙(株)の関連会社で洋服のバーコードタグを扱っている。その営業活動の中で、アパレル会社から紙の糸を作って欲しいと要望があった。

マーケティングについて

国内、海外の展示会へ出展した。その後、多方面のお客様から引き合いが入るようになった。

参入に際しての投資について

広告宣伝費、生産設備、開発費用に資金を投じた。

参入して最も成果のあったこと

王子製紙の企業理念「環境と文化への貢献」に合致している点。会社イメージの向上。

及び最も困難だったこと

最も困難だったことは、開発である。

紙系の歴史は長く、日本には、和紙を割いてつくったものがある。昔からある素材であるが、破れやすい、切れやすいといった問題があった。

当社は、原料探しから、原料の選定、試作まで手掛けた。開発に、多くのコスト、時間がかかった。

今後の展望・見通し

天然紙系繊維の普及に努めたい。前述のとおり、紙系は昔からある素材であるが、その品質は劣っていた。

当社の、天然紙系繊維「OJO+(オージョ)」は、昔の紙系とは一線を画す。しなやかでありながら、強靱性も有す。高品質なものなので、その良さを多くの人に知ってほしい。

栽培サイクルの早い麻を使用していること、土に還る天然素材であること、環境負荷が小さいことなどを考えると、天然紙系繊維「OJO+(オージョ)」はエコの時代に適した素材と考えている。その点も合わせて知ってほしい。

メリット・デメリット

デメリットは、開発費の大きさと、利益が出るまで時間がかかること。

異業種参入時のアドバイス

よりよい品質のものを提供して欲しい。

行政の支援について

異業種参入に際し、役に立った行政、支援機関の制度特になし。

異業種参入に際し、行政に対して望む支援

洋服のタグに、生地がどういった素材か明記する必要がある。現行では、紙系のカテゴリーがない。よって、タグには、「指定外繊維」と記載されてしまう。「ペーパーヤーン」「和紙」といった括りを早く設けて欲しい。

会社概要

設立:2002年11月1日

資本金:5,250万円

従業員数:6名(社外取締役含む)

URL:<http://www.ojifiber.co.jp>